

令和 8 年度 第 1 回長岡京市図書館協議会 会議録

日 時：令和 8 年 7 月 23 日（木）10:30～12:00

場 所：長岡京市図書館 3 階 大会議室

出席者：委員（9 名）

卯滝会長、大川副会長、前田委員、大谷委員、浅田委員、藤原委員、井内委員、
 小泉委員、山田委員

欠席者：佐々木委員

事務局：西村館長、加藤館長補佐、新谷主査（文責）、高橋主査（文責）

傍聴者：1 名

案 件：（1）令和 7 年度図書館事業報告について
 （2）令和 8 年度図書館事業計画について
 （3）その他

議事

1 開会

2 長岡京市図書館協議会委員の任命について

教育長より任命状交付

3 教育長あいさつ

本市の図書館は、市民の教養と文化を育む拠点として蔵書の充実や多様な読書イベントを実施し、年間約 14 万人が利用している。しかし、施設の老朽化や市民ニーズの多様化への対応が課題となっている。文化財保存活用課の移転により図書館内に生じた空きスペースを活用し、図書館や中央公民館などを含む「文化ゾーン」のリノベーション計画を進めている。この計画では、多世代が集い交流できる快適な居場所を目指しており、市民の意見を取り入れながら基本計画を策定中である。本日の協議会では、令和 7 年度事業報告と令和 8 年度事業計画の説明に加え、文化ゾーンリノベーションについての意見を求め、図書館を「教養・文化・情報の拠点」とするための議論をお願いしたい。

4 自己紹介

委員・事務局の自己紹介後、教育長は公務により退席。

5 会長・副会長選出

長岡京市図書館設置条例施行規則第 11 条に基づき、委員の互選により卯滝委員が会長に、大川委員が副会長に推薦され、承認された。

6 会長あいさつ

前期から引き続いてということで、重責に感じるが、会長を務めさせていただく。今回は様々な案件があるが、このメンバーでしっかりと館長の相談に乗り、また市民の方の意見も取り入れながら、協議会を進めていきたい。

7 議題

(1) 令和7年度図書館事業報告について

【事務局】

・貸出状況について

令和7年度に貸出上限冊数を5冊から10冊に増やしたことで、貸出冊数が前年より64,388冊増加した。一方で貸出者数は6,093人減少している。1日平均で見ると、貸出冊数は1,478冊から1,691冊に増加したが、貸出者数は533人から506人に減少している。貸出冊数が増加した理由としては、資料の有効活用が進んだことが挙げられる。一方、貸出者数の減少については、来館者数そのものが減ったわけではなく、1枚のカードで借りられる冊数が増えたことで家族でのまとめ借りが減少したことが主な要因と考えられる。貸出者数の減少については、今後の傾向を注視していきたい。

・予約状況について

予約方法は館内業務端末、電話、インターネット、携帯電話・スマートフォンの4種類あり、令和7年度の年間予約冊数は前年度比約13.6%増の9,476冊増加となった。この増加には、1人あたりの貸出上限冊数を5冊から10冊に増やした影響があると分析している。特にインターネット予約や携帯電話・スマートフォン予約が大幅に増加しており、今後もこれらの予約方法を積極的に案内し、利用者の利便性向上に取り組む予定である。

・除籍状況について

当館では令和13年度の蔵書数20万冊を目標に、令和4年度からニーズに応じた蔵書構成を目指して除籍を進めている。令和7年度の除籍状況では、一般書のうち文学以外の分野で目標を達成。児童書は利用価値の高い古い資料が多いため、除籍選定を慎重に行った結果、目標蔵書数には達しなかった。しかし、一般書と児童書の合計では目標値を達成。今後も資料の価値を見極めながら、目標蔵書数に向けて除籍作業を進めていく方針である。

・令和7年度各種行事について

令和7年6月から図書館1階に、市の情報発信特設本棚『まちとしょ』を開設し、市の各部署と連携して関連図書やポスターを展示し、市民への情報発信を行った。テーマは「俳句」「戦争と平和」「学校給食」など幅広く、令和7年度には11部署と連携した。また、図書館と雑誌スポンサー企業との連携事業として『ウォーキングフットボール体験会』を開催し、3歳から80代まで楽しめるスポーツを体験した。当日は盛況で、1～3月には生涯スポーツに関する図書の特集展示も実施した。

【会長】

事務局から詳しく説明があった内容について、委員の皆さんの行っている活動に関連するところもあると思うので、質問や意見があればいただきたい。

【委員】

貸出上限冊数が10冊になって感激した。夏休みに帰省した孫のためにたくさん本を借りることができて、とても喜んでくれた。貸出上限が増えたことが、もっと広く市民に知れ渡り、活用してもらえたら良いと思った。

【会長】

本や情報を収集して保存し、必要なものをしっかりと提供するということが図書館において基本的で大事な仕事。古い本を除籍して新しい本を購入し、新鮮度の高い書架を作るといふ日頃の活動により、市民の読みたい本を数多く揃えることができ、先ほど委員が発言したような結果に結びついたと思う。

【委員】

図書館をよく利用している。図書館職員の対応について、本を探すときや、子供への対応など、いつも丁寧で感謝している。

【委員】

貸出上限冊数の増加により、学童での読み聞かせや保育室での本の展示が可能となり、子どもたちが本に興味を持つきっかけが増えた。特に、普段本に関心を示さない子どもが「本を読んでほしい」と言うようになり、貸出冊数のさらなる増加を希望する声も上がっている。また、予約本のバンビオ受け取りについて、貸出上限を超えた分が自動的に図書館受け取りに変更される仕組みがあるが、その後に本を返却しても受け取り場所が図書館のままになる点には改善の余地があるのではないかと感じる。さらに、予約件数に関する詳細な説明はあったが、リクエストのデータが提示されていない。リクエストによる本の購入はどの程度行われているのか、具体的な数字を確認したい。

【事務局】

予約本のバンビオ受け取りについての運用に関して、バンビオの職員は図書館システムの管理を担当しておらず、図書館側が一元管理している。図書館職員が作業する時点での貸出冊数を基準に、バンビオ受け取り用の本を準備している状況である。利便性という観点では課題があるものの、現時点では他の有効な方法が確立されていない。

【委員】

貸出についての現行の方法は、現状ではやむを得ないと考える。ただし、利用者側が次の本の受取場所が変わることを避けるためには、先のことを計算してあらかじめ返却を済ませておかなければならないという仕組みがある。

【事務局】

図書館側としても課題に感じている。今年度システム更新を予定しており、ベンダーとも相談中である。今回いただいたご意見も含め、さらに検討していきたい。また、リクエストいただいた本のうち当館未所蔵分については、府内他館から取り寄せることが多い。令和7年度は約3,000件であった。その他に新規で購入する場合もあるが、その件数は実数値としては出ていない。

【会長】

細かな意見をいただけることで改善が進み、市民の要望に合ったサービスの実現が可能となる。過去には希望図書の購入が必ずしも実現しない館や予約リクエスト制度自体がない図書館もあったが、現在は利用者の思いに沿った仕組みが整備されている。職員との対話を重

視して、市民の要望が叶えられるサービスをおこなっていただきたい。また、貸出件数の増加は大変評価できる点であり、今後も注視していく必要がある。

(2) 令和 8 年度図書館事業計画について

【事務局】

・図書館システム更新について

今年度、図書館システムの更新を予定しており、プロポーザル方式で「京セラコミュニケーションシステム株式会社」と契約を締結した。現在、新システムの 12 月稼働に向けて協議を進めている。また、新システム稼働と同時に 1 階カウンター前にセルフ貸出機を設置し運用を開始する予定である。11 月 20 日頃からシステムの入替作業と年 1 回の蔵書点検を実施し、その期間は休館となる。

・令和 8 年度各種行事について

概ね令和 7 年度と同様の事業を予定している。3 点ほど抜粋して説明する。

① 『ぶんこピクニック』

令和 8 年度より初めての試みとして、昨年 9 月にリニューアルされた長岡公園休憩所（通称“fuRari”）でのおはなし会を実施する。既に今年 5 月に行った第 1 回では、34 名の方にご参加いただき、多くの親子連れの方が絵本の読み聞かせや手遊びを楽しんだ。

② 『読書講演会』

令和 8 年度は教育委員会と西山短期大学との「連携事業」の一環として、6 月 13 日（土）に読書講演会を開催した。講師には西山短期大学の客員教授であり絵本作家としても活躍される吉田瑠美氏をお招きした。絵本作家としてのキャリアや著書への思いについてお話しいただき、また著者ご本人による読み聞かせも行われた。当日は 49 名が参加し、講師の温かい人柄や読み聞かせの魅力に関する感想が多数寄せられた。

③ 『まちとしょ』

今年度も引き続き、様々な部署と連携して『まちとしょ』コーナーを展開する。現時点では 10 の部署との連携が決まっており、より多くの利用者の方にこのコーナーを知っていただけるよう、LINE 配信などを活用しながら随時情報発信を行う予定である。

【会長】

只今の事業計画について、ご意見をお願いしたい。

【委員】

子どもたちには読書を通じて、新たな知識や興味を広げ、登場人物の心情に共感する力を身につけてほしいと考えている。しかし、本の値段高騰により学校での購入が厳しい状況にある。GIGA スクールにより端末での調べ学習は容易になったが、図書館や図書室で本を選ぶ経験も重要であり、本をめくる中で偶然の発見が“学習の寄り道”を生む。図書館の展示や催しは非常に有益であり、今後も学校と図書館の連携を強化していきたい。

【委員】

子どもが小学校 2 年生の図書館見学をきっかけに図書館に関心を持ち、親子で訪れるようになった。目的がなくてもコーナー展示や新刊本、読書感想文の特集などが目を引き、子どもが表紙を見て興味を持ちやすい工夫がされている点が素晴らしいと感じている。また、読書手帳のシール集めも楽しみになっている。

【委員】

先月、社会教育委員会の図書館視察でその仕事ぶりに感激した。図書館に行きたくても事情で足を運べない人のために、移動図書館が復活すれば良いと考えている。移動図書館は保護者の負担を軽減し、子どもたちも楽しめるほか、絵本を通じた感動を広げる機会にもなる。さまざまな人が本と触れ合える場として期待している。

【委員】

公民館でのボランティア活動を通じて、図書館の貸出冊数が増えたことを喜ぶ子どもと出会い、この取り組みは良いと感じている。また、リノベーションによる休館期間中に移動図書館を活用することは有効な対応策だと考えた。

【委員】

週1回、自宅や勝竜寺城公園で文庫活動を行い、子どもたちが偶然や友達の誘いで訪れる様子から、本を通じた人とのつながりを実感している。図書館から遠い地域の子どもたちにとって、身近に本と触れ合える場所は重要である。リノベーション後には、スマホやタブレットではなく、直接会話ができる場が増えることを期待している。

【会長】

もう一つ議案が残っているが、ここまでの内容について事務局から何かあるか。

【事務局】

貸出冊数を5冊から10冊に変更した背景には、子供や保護者からの「もっと本を借りたい」という要望があった。当初、子供たちがカウンターで見せた嬉しそうな様子が印象的だった。今後も利用者サービスの向上に努めたい。また、本の価格高騰に対しては、予算確保等を通じて資料の充実に取り組んでいく。

【会長】

令和7年度事業報告、令和8年度事業計画については承認された。続いて、3つ目の議題についての説明を事務局からお願いしたい。

【事務局】

(3) その他

・文化ゾーンリノベーション事業の概要

委員改選に伴い、改めてこれまでの経緯等、簡潔に説明する。図書館と中央公民館は築約40年を迎え、建物や設備の老朽化が課題となっている。幅広い世代が快適に過ごせる空間の整備やユニバーサルデザインの導入、デジタル化推進など、市民ニーズに応じた機能拡充が求められている。今年1月に文化財保存活用課が移転し図書館3階の空きスペースができたことを契機に、図書館や中央公民館、市民ひろばなどを「文化ゾーン」として再構築するリノベーション事業を検討している。図書館の未来像として「心地よい居場所」の実現を目指し、蔵書や空間デザイン、イベント企画を充実させるとともに、周囲の景観を活かし静かなエリアと賑やかなエリアを適切に配置。多様な世代が快適に過ごせる環境を整え、一人でもグループでも気軽に訪問できる場所を目指す。

・文化ゾーンリノベーション事業の現在の検討状況の報告

基本計画策定に向けて、市民参加型プラットフォーム「Voice 長岡京」を活用し、約1,600件のアイデアが寄せられた。主な意見は、学習スペースや読書空間の充実、子ども・

若者の居場所づくり、カフェ機能、屋外空間の活用に関するものなど多岐にわたる。7月21日には文庫連絡会やボランティア、学校図書館司書との意見交換会を実施し、現状の課題や未来のアイデアを直接お聞かせいただいた。今後、7月26日に「Voice 長岡京」の意見を基にしたトークセッション「集まった1,600の声から未来をのぞくつどい」、8月1日に未来の文化ゾーンを体験できるイベント「みんなどう過ごしたい？これからの図書館・公民館を考える体験 day」を開催予定である。委員の皆様におかれましても、ぜひこれらのイベントにご参加いただき、貴重なご意見をいただきたい。

【会長】

今の説明について、何か質問はあるか。

【委員】

今後のスケジュールを見ると、工事による休館までの3年間、図書館3階が空いているようだが、どんな活動をされる予定かお聞かせいただきたい。

【事務局】

3階の空いている部屋を活用して、今後の図書館・公民館がどういう風にならないうかというお声を元に、それらを体験していただけるようなイベントを企画していこうと思っている。皆さんでリノベーション後の図書館を一緒に考えていきたい。

【委員】

8月1日にイベントがあるが、今後も同様のイベントを企画する予定はあるのか。

【事務局】

その予定である。

【委員】

7月26日、8月1日のイベントの詳細をお願いしたい。

【事務局】

7月26日は、基本計画策定を委託しているアカデミック・リソース・ガイド株式会社の岡本氏と、「Voice 長岡京」を手掛けておられる栗本氏をお呼びして、集まった1,600件のお声を画面に映しながらトークセッションという形で考えている。

8月1日には、株式会社リノベリングの水上氏をゲストに迎えたトークイベントを開催予定である。その後、集まった1,600の声をもとに「軽食を食べる」「景色を見ながら本を読む」「子供たちがゲームで遊べる」などのブースを設置し、参加者が実際に体験できる時間を設ける予定である。

8 閉会

【会長】

以上で本日の議題はすべて終了とする。今回より2年間、この新たなメンバーで図書館のことを話し合っていけたらと思う。それぞれの視点から様々な思いや意見を図書館に届けて、協議会の活動をしていきたい。

【事務局】

次回の協議会は、例年通り、来年２月頃を予定しているが、今年度はリノベーション事業の基本計画策定もあるため、臨時で協議会を開催させていただく場合がある。その際は、改めて日程調整させていただくので、何卒ご理解とご協力をお願いしたい。